

知 識 科 学 セ ミ ナ ー

テーマ 「計算社会科学の最前線」

講演者： 名古屋大学大学院情報学研究科
講師 笹原 和俊 氏

日 時： 令和元年5月15日（水）
15：20～17：00

場 所： 知識科学系講義棟 2階
K3・K4講義室

講演要旨：

計算社会科学（Computational Social Science）という新しい学際科学が誕生し、今注目されている。その背景として、ウェブのソーシャル化やIoTの登場により行動が電子化されるようになったことや、ビッグデータを扱う数理・情報技術が発達したことがある。さらに、複雑化社会の新しい理解の仕方が求められていることもあげられる。本セミナーでは、計算社会科学の誕生経緯、アプローチ、最新動向を紹介した後、「分断」をテーマとする研究を2つ紹介する。

1つ目は、フェイクニュースの温床となるエコーチェンバーに関する計算モデルについて、人間の認知特性とソーシャルメディアの相互作用から意見の分極や社会的分断が生じることを示す。2つ目は、フード・アイデンティティに関するソーシャルメディア分析で、オーガニック系の食を好むユーザーとファストフード系の食を好むユーザーには食以外の価値観や購買意識にも違いがあり、さらに社会的ネットワークも分断されていることを示す。

講演者略歴：

2002.4～2005.3	東京大学 大学院総合文化研究科 博士（学術）
2005.4～2008.3	理化学研究所脳科学総合研究センター 研究員
2008.4～2011.3	日本学術振興会特別研究員 PD
2009.4～2010.3	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 客員研究員
2011.4～2012.5	FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクト 研究員
2012.6～現在	名古屋大学 大学院情報学研究科 講師
2016.4～2017.3	インディアナ大学ブルーミントン校 客員研究員
2016.12～現在	JST さきがけ研究者（兼任）